

★プログラム★

テーマ「子どもの皮膚フロントライン—Deep Insight in 池袋—」

7月14日（土） 1日目

第1会場 3F 富士A・B

9：00～10：00

特別講演

座長：相場 節也（東北大学医学部皮膚科学分野）

RASopathies～新しい疾患概念とその病態解明

青木 洋子（東北大学医学部遺伝医療学分野）

10：05～11：05

教育講演 1

座長：森岡 一郎（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

川崎病の皮膚所見とその臨床的考察

鮎沢 衛（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

13：05～15：05

シンポジウム 1 「紫外線の功罪」

オーガナイザー：森脇 真一（大阪医科大学感覚器機能形態医学講座皮膚科学）
大嶋 勇成（福井大学医学部病態制御医学講座小児科学）

紫外線と免疫

戸倉 新樹（浜松医科大学皮膚科学講座）

紫外線とビタミンD

上出 良一（ひふのクリニック人形町）

骨代謝とビタミンD

窪田 拓生（大阪大学大学院医学系研究科小児科学）

アトピー性皮膚炎と紫外線～疫学調査の視点から～

吉田 幸一（東京都立小児総合医療センターアレルギー科）

15：15～17：15

スポンサーシンポジウム「小児痤瘡治療総論～日本の痤瘡治療の現状と課題～」

座長：林 伸和（虎の門病院皮膚科）

松原 知代（獨協医科大学埼玉医療センター小児科）

小児痤瘡治療総論～日本の痤瘡治療の現状と課題～

林 伸和（虎の門病院皮膚科）

小児の尋常性痤瘡およびアダパレン／過酸化ベンゾイル配合剤の重要な役割

Dae Hun Suh (Department of Dermatology, Seoul National University
College of Medicine, Acne Research Laboratory, Seoul
National University Hospital, Seoul South Korea)

思春期痤瘡と学校保健活動

島田 辰彦（島田ひふ科）

尋常性痤瘡治療に対する患者指導

渡辺 雅子（小林皮膚科医院）

共催：マルホ株式会社

第2会場 3F朝日

10:00~11:05

教育講演2

座長：武井 修治（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科小児科）

自己炎症性疾患アップデート

金澤 伸雄（和歌山県立医科大学皮膚科学教室）

11:50~12:50

ランチョンセミナー1

座長：鶴田 大輔（大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学）

結節性硬化症に伴う皮膚病変への あたらしいアプローチ—シロリムス外用剤

金田 眞理（大阪大学大学院医学系研究科皮膚科）

共催：ノーベルファーマ株式会社

13:00~14:00

教育講演3

座長：大日方 薫（順天堂大学医学部附属浦安病院小児科）

表皮水疱症に対する再生医療および遺伝子治療の展望

玉井 克人（大阪大学大学院医学系研究科再生誘導医学）

14:10~15:10

教育講演4

座長：相原 道子（横浜市立大学医学部皮膚科学教室）

小児の足の皮膚トラブルと必要なフットケア

高山 かおる（埼玉済生会川口総合病院皮膚科）

15:15~17:15

シンポジウム2「小児における皮膚 GVHD と Phototherapy：最近の知見と治療の進歩」

オーガナイザー：戸倉 新樹（浜松医科大学皮膚科学教室）

谷ヶ崎 博（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

GVHD の基本病態と最新の知見

稲本 賢弘（国立研究開発法人国立がん研究センター中央病院）

GVHD の病理：皮膚から学ぶこと

伊藤 雅文（名古屋第一赤十字病院病理部）

皮膚 GVHD に対する NB-UVB 光線療法のメカニズム

井山 諭（札幌医科大学血液内科学）

小児 GVHD に対する光線療法の経験

葉山 惟大（日本大学医学部皮膚科学系皮膚科学分野）

小児 GVHD と UVB 光線療法の有用性と限界

金澤 剛二（日本大学医学部小児科学系小児科学分野）

17:30~18:30

イブニングセミナー1「小児の炎症性疾患」

座長：五十嵐 敦之（NTT 東日本関東病院皮膚科）

小児の脊椎関節炎とその皮膚症状

益田 浩司（京都府立医科大学皮膚科）

難治性痤瘡の鑑別疾患

林 伸和（虎の門病院皮膚科）

共催：エーザイ株式会社／アッヴィ合同会社

第3会場 3F光

- 10：05～10：45 一般演題1 口演「湿疹・皮膚炎・薬疹」
- 座長：吉原 重美（獨協医科大学小児科）
佐々木 りか子（りかこ皮膚科クリニック）
- O-1. 小児のドライスキン及び軽症アトピー性皮膚炎の皮膚症状に対するメルシーケア[®]の有効性と安全性に関する検討
齋 明寿（大阪医科大学皮膚科学教室）
- O-2. 乳児期早期の湿疹と経皮感作について
田中 泰樹（小児科すこやかアレルギークリニック）
- O-3. カルボシステインとブランルカスト水和物を内服後に発症した急性汎発性発疹性膿疱症の1例
加藤 望美（順天堂大学医学部附属順天堂医院皮膚科）
- O-4. 坐薬基剤（ハードファット）による薬疹の1例
田中 慎一郎（獨協医科大学埼玉医療センター）
-
- 11：50～12：50 ランチョンセミナー2
- 座長：三石 知左子（葛飾赤十字産院小児科）
- 予防できなかったアトピー性皮膚炎の子どもをどうするか
山本 一哉（元総合母子保健センター愛育病院皮膚科）
- 共催：株式会社ナチュラルサイエンス
-
- 13：00～13：40 一般演題2 口演「感染症1」
- 座長：堀越 裕歩（東京都立小児総合医療センター感染症科）
渡辺 大輔（愛知医科大学皮膚科学教室）
- O-5. 水痘ワクチン接種後に Gianotti-Crosti 症候群を発症した1例
柴田 知之（愛知医科大学病院皮膚科）
- O-6. 水痘罹患時に重症蜂窩織炎を併発した水痘ワクチン未接種の女児例
手島 名帆子（東京都保健医療公社豊島病院臨床研修センター）
- O-7. 幼児に生じた難治性せつ腫症の1例
足立 麻友子（大阪医科大学皮膚科学教室、淀川キリスト教病院皮膚科）
- O-8. 家族内伝播した MRSA によるブドウ球菌性熱傷様皮膚症候群（SSSS）
九穂 尚子（虎の門病院皮膚科）
-
- 14：10～15：50 一般演題3 口演「炎症性角化症・水疱症・膿疱症」
- 座長：武井 修治（鹿児島大学大学院医歯学総合研究科（小児科））
多田 弥生（帝京大学医学部皮膚科学教室）
- O-9. ビタミンA製剤内服が奏功した小児毛孔性紅色秕糠疹の1例
三村 慶子（済生会横浜市南部病院皮膚科）
- O-10. インフリキシマブとメトトレキサートの併用療法が奏功した小児汎発性膿疱性乾癬の1例
夏見 亜希（大阪市立大学大学院医学研究科皮膚病態学）

- O-11. 名古屋市立大学皮膚科における小児乾癬13例のまとめ
西田 絵美 (名古屋市立大学加齢環境皮膚科学)
- O-12. 側頸嚢胞と扁桃の摘出後に掌蹠膿疱症と関節炎が改善した小児例
飛田 璃恵 (東京医科大学皮膚科学分野)
- O-13. 川崎病治療後に、好酸球増多を伴って発症した乳児好酸球性膿疱性毛包炎の1例
佐藤 篤子 (自治医科大学皮膚科)
- O-14. 無症状の母から出生した新生児尋常性天疱瘡の1例
田中 諒 (慶應義塾大学病院皮膚科)

16:20~17:20

一般演題4 口演「腫瘍」

座長：脇口 宏之 (山口大学医学部小児科学講座)
須賀 康 (順天堂大学医学部附属浦安病院皮膚科)

- O-15. 脂腺母斑上に生じた毛芽腫の1例
坂ノ上 正直 (鹿児島大学皮膚科)
- O-16. Eccrine Angiomatous Hamartoma の1例
三井 広 (山梨大学医学部皮膚科)
- O-17. 皮疹を初発症状とした若年性骨髄単球性白血病の1例
永井 爽 (獨協医科大学埼玉医療センター小児科)
- O-18. 自然寛解した乳児 Langerhans 組織球症の1例
兼島 明子 (琉球大学病院皮膚科)
- O-19. 当科の早産児における乳児血管腫に対するプロプラノロールの使用経験
佐藤 愛 (神奈川県立こども医療センター皮膚科)
- O-20. 乳児血管腫51症例に対するプロプラノロール経口液剤の使用経験
馬場 直子 (神奈川県立こども医療センター皮膚科)

17:30~18:30

イブニングセミナー2「アトピー性皮膚炎の病態から治療まで」

座長：下条 直樹 (千葉大学医学部小児病態学)
秀 道広 (広島大学医学部皮膚科学)

STAT3欠損アトピーマウスモデルにおける Th2反応の役割

久保 允人 (東京理科大学生命医科学研究分子病態学研究部門
国立研究開発法人理化学研究所生命医科学研究センター)

乳児～成人：ライフサイクルを意識したアトピー性皮膚炎の治療介入

片岡 葉子 (大阪はびきの医療センター皮膚科)

共催：サノフィ株式会社

ポスター会場 3 F 富士C・D

17:30~18:30

一般演題 ポスター「膠原病・薬疹他」

座長：三石 知左子 (葛飾赤十字産院小児科)

- P-1. 魚卵アレルギーの2例
齋藤 怜 (広島大学病院皮膚科)
- P-2. 早産児に対する橈骨動脈ライン留置が一因と考えられた前腕部皮膚潰瘍の1例
羽根 将之 (順天堂大学医学部附属浦安病院小児科)
- P-3. 小児の抗 PL-7抗体陽性の全身性強皮症の1例
國見 侑花 (福岡大学医学部皮膚科学教室)
- P-4. 原発性免疫不全症に生じた ST 合剤による薬剤性過敏症候群の1例
東山 文香 (三重大学医学部皮膚科)

17:30~18:30

一般演題 ポスター「先天性疾患他」

座長：三石 知左子（葛飾赤十字産院小児科）

- P-5. Acral self-healing collodion baby の1例
定平 知江子（東京都立小児総合医療センター皮膚科）
- P-6. 遮光の徹底により経過良好な骨髄性ポルフィリン症の1例
宗元 紗和（尼崎県立総合医療センター皮膚科）
- P-7. 皮膚生検を契機に自然消退した環状肉芽腫の1例
永田 寛（久留米大学医学部皮膚科学教室）
- P-8. 境界明瞭な白斑を伴った Chédiak-Higashi 症候群の1例
伊藤 満（岐阜大学医学部皮膚科）

17:30~18:30

一般演題 ポスター「腫瘍・感染症他」

座長：日野 治子（関東中央病院皮膚科）

- P-9. グロームス腫瘍との鑑別を要した爪下外骨腫の1例
菅原 まどか（東京女子医科大学皮膚科学教室）
- P-10. 関節周囲の先天性母斑に対し数回のシリアル切除により完全切除に至った3例
和田 尚子（九州大学病院皮膚科）
- P-11. *Microsporium canis* による女児ケルスス禿瘡の1例
中井 智絵（三重大学皮膚科）
- P-12. 漢方治療で見た尋常性疣贅（イボ）と伝染性軟属腫（MC）の関係
渡邊 善一郎（福笑会富士ニコニコクリニック）

17:30~18:30

一般演題 ポスター「基礎研究他」

座長：日野 治子（関東中央病院皮膚科）

- P-13. 生後3ヶ月間の低刺激性洗浄料とセラミド機能成分配合保湿剤の併用の有用性の検討
高山 恵理奈（白子ウィメンズホスピタル）
- P-14. 日常的に清潔・保湿のスキンケアを実施してきた保育園児の追跡調査3
—アトピー素因・スキンケア方法と皮膚状態の関連について—
藤浪 未沙（株式会社ナチュラルサイエンス）
- P-15. 乳幼児の皮膚に関する生理学的特性について（第二報）
財木 香里（ピアス株式会社中央研究所）
- P-16. 日本臨床皮膚科医会学校保健委員会 平成29年度活動報告
島田 辰彦（日本臨床皮膚科医会学校保健委員会）
- P-17. 日本小児皮膚科学会学校保健委員会活動報告（2017年度）
日本小児皮膚科学会学校保健委員会